

議会改革のためのアンケート調査結果について

さつま町議会では、議会の活性化と議員の定数及び報酬について調査研究するため、議会活性化調査特別委員会を設置し、議会基本条例の見直しや議員定数・議員報酬のあり方などを検討しています。

このようなことから、さつま町議会の更なる議会改革を進めるために、町民の皆様のご意見をお伺いしたく、8月にアンケートを実施しました。

町民の皆様が議会や議会制度をどのように捉え、また、今後どのようなまちづくりを望んでいるのか、これまでの議会の活性化や今後の議会のあるべき姿について分析し、さつま町議会の活性化を図っていききたいと考えています。

◎アンケート調査の概要◎

【調査地域】	さつま町全域
【調査対象】	町内18歳以上の男女1,000人（男500人、女500人） （年代別に対象人数を設定し無作為抽出）
【調査時期】	令和元年8月1日～8月31日
【回収数】	380人
【回収率】	38.0%

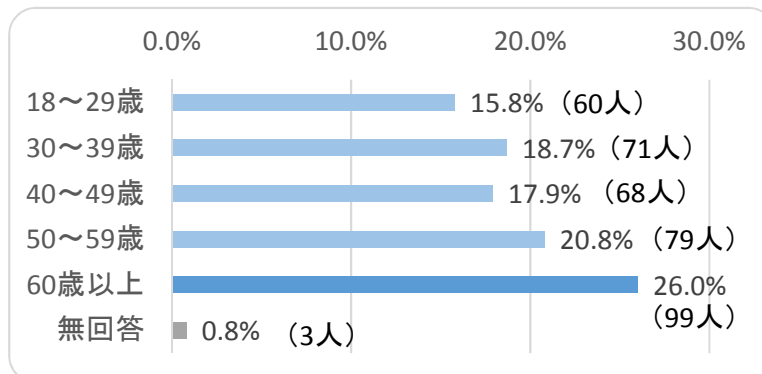
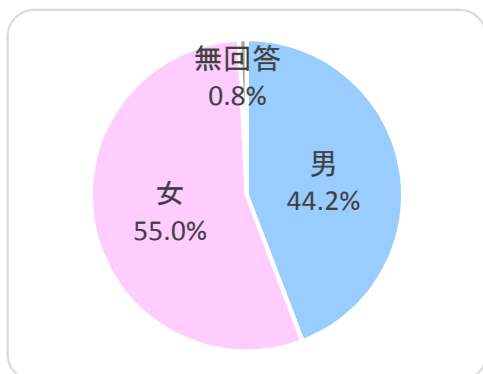
アンケート対象者	
30歳未満	200人
30歳代	200人
40歳代	200人
50歳代	200人
60歳以上	200人

調査の結果

I あなたのことについて

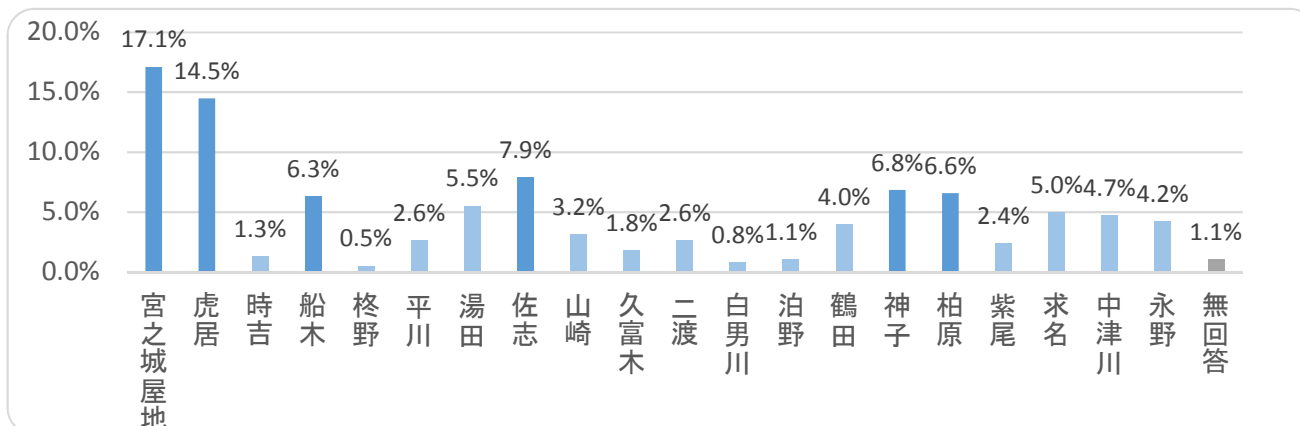
問1 あなたの性別はどちらですか。

問2 あなたの年代はどれですか。



○男女比では女性の回答が多く、年代別では60歳以上の回答が多い結果となりました。

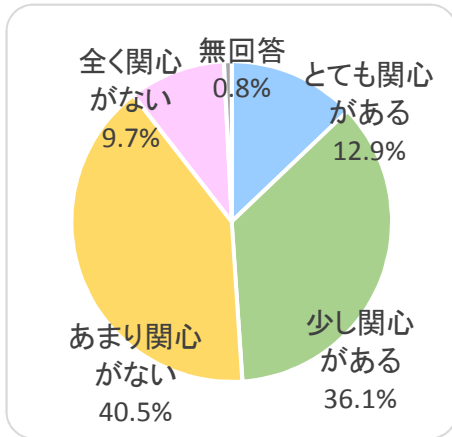
問3 あなたの住んでいる地区は次のうちどちらですか。



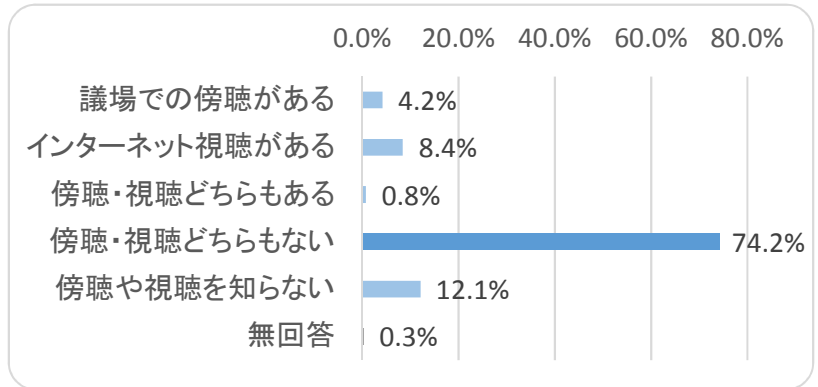
○無作為抽出のため人口の多い地区の対象者が多く、回答者もそれに併せて多くなっています。

Ⅱ さつま町議会について

問4 あなたはさつま町議会に関心がありますか。

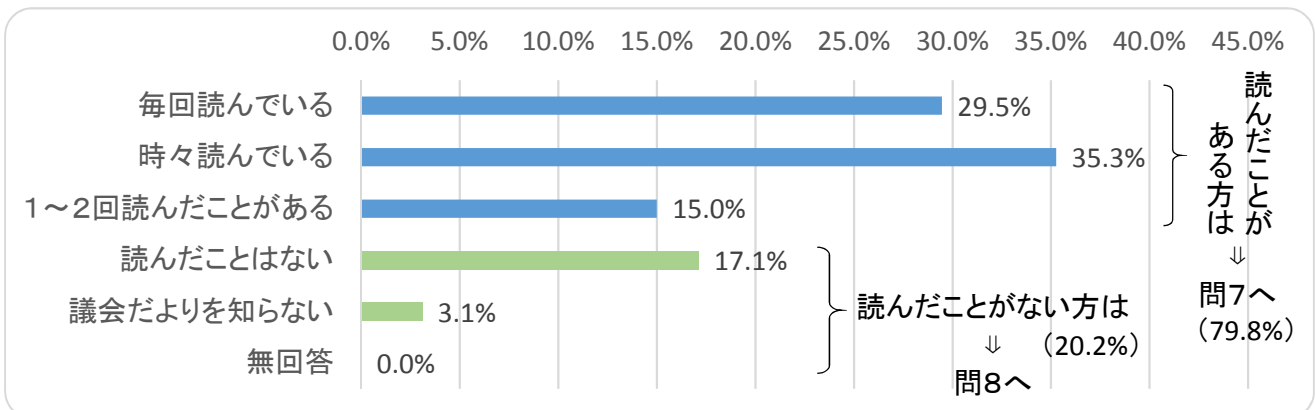


問5 毎年3月、6月、9月、12月に定例会を開催し、議場での傍聴のほか、インターネットによる中継もしていますが、あなたはさつま町議会の会議等を見たことがありますか。



○町議会に関心のある方・ない方はほぼ同数ですが、議場での傍聴やインターネット中継を見たことがある方は、あまりいないようでした。

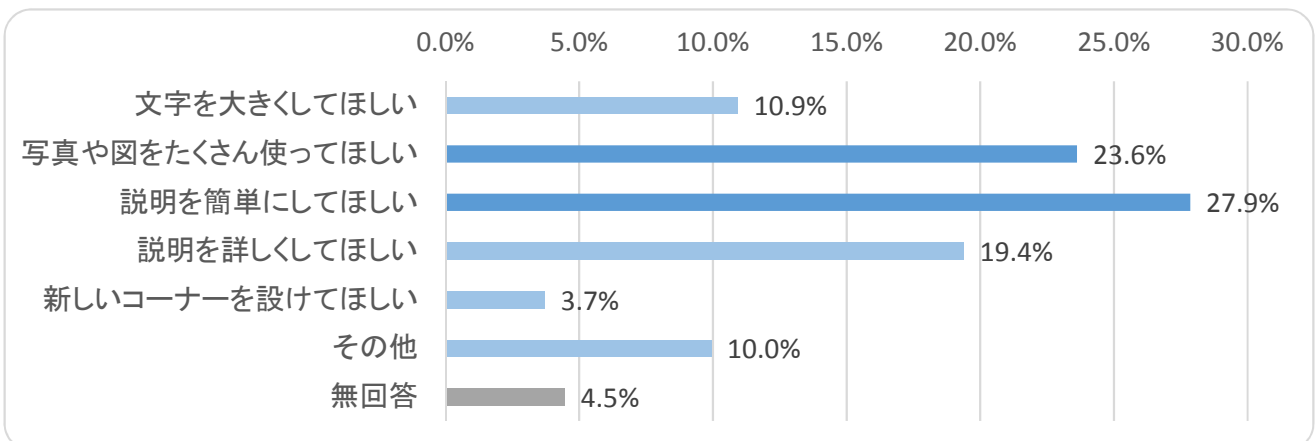
問6 年4回の定例会後の5月、8月、11月、2月に「議会だより」を発行していますが、あなたは「議会だより」を読んだことがありますか。



○8割程度の方が議会だよりを読んだことがあり、毎回・時々読んでいる方は65%程度で、議会だよりへの関心の高さが伺えました。

(「議会だより」を読んだことのある方へ)

問7 「議会だより」の充実のためにどのようなことを望みますか。(2つまで回答可)



(1) 設けてほしい新しいコーナーの例 【7件】

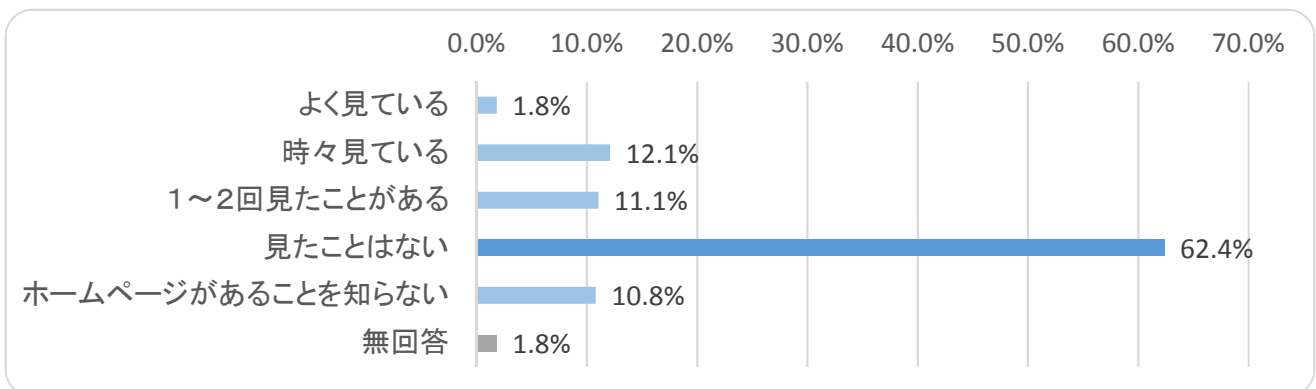
- ・改善が見られた取り組みの紹介
- ・小さな問題を町民から集め、議題にしてほしい
- ・個々の議員の活動状況
- ・議会を身近に感じられるコーナー
- ・議会と町民のもっと直接的なかかわりを記事にしてほしい
- ・豆知識コーナー(町民には理解できない行政用語が多すぎる)、用語の解説など、住民目線で！例えば可決とは、債務負担行為とは…etc.

(2) その他のご意見 【22件】

- ・その後どうなったのかを知らせてほしい
- ・もっと親しみ易く、分かり易くしてほしい
- ・補足の説明をつけてほしいときがある
- ・意図を記して欲しい
- ・議会の役割、議員の役割を示してほしい
- ・議員の顔写真と一言を毎回入れてほしい
- ・どんなやりとりがあったのかわかりやすく書いてほしい。ページがふえても可。
- ・答弁の議事録ではなく、その質問、答弁の背景や現状の説明を知る記事がほしい
- ・提案したことがどれだけ実現できているのかをみたい
- ・なぜこの議題を取り上げるのか理由を知りたい。
- ・町民が本当に望んでいる議事を開き、それに対しての説明を詳しくしてほしい
- ・一人一人の質問の答えが～の予定ばかりで結果は記入されていないと思う
- ・議会が反対するようなことはもっと詳しく説明が必要と思う
- ・毎回変化のない紙面構成で魅力がない
- ・さつま町の発展に努力されている内容とか知ることができると嬉しいです
- ・言葉が議会答弁のまま引用されているため、議会に関わらない人には伝わりにくい。

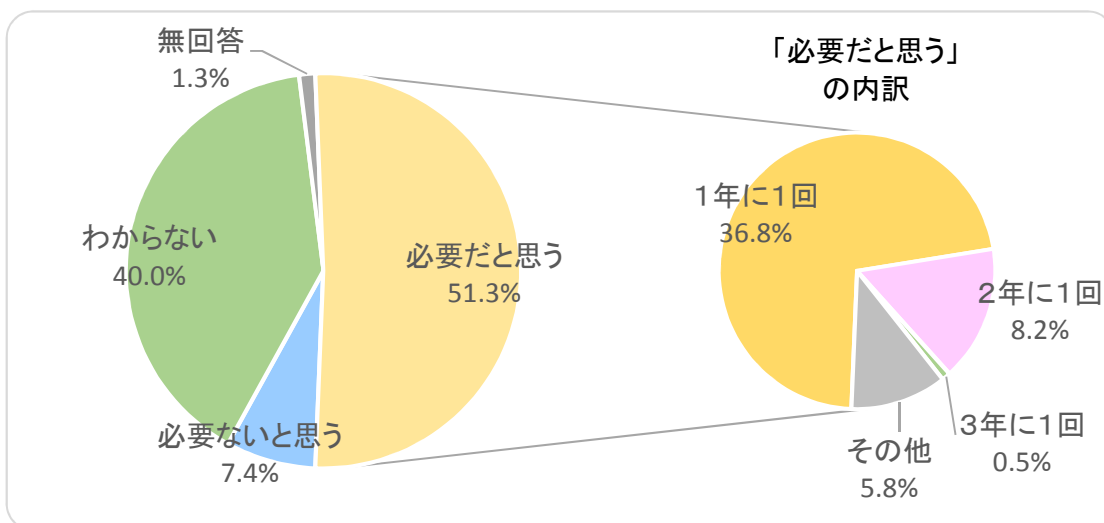
○説明を簡単にしてほしいという意見が最も多いようでした。また、その他として、用語の解説やその後の結果などの記載を望む声もありました。

問8 あなたはさつま町議会ホームページを見たことがありますか。



○議会ホームページについては、6割超の方が見たことはないという回答でした。

問9 町内全地区で議会報告会・意見交換会を2年に1回開催しています。あなたは議会報告会・意見交換会は必要だと思いますか。また、必要だと思う場合は、何年に1回くらいの開催がいいと思いますか。

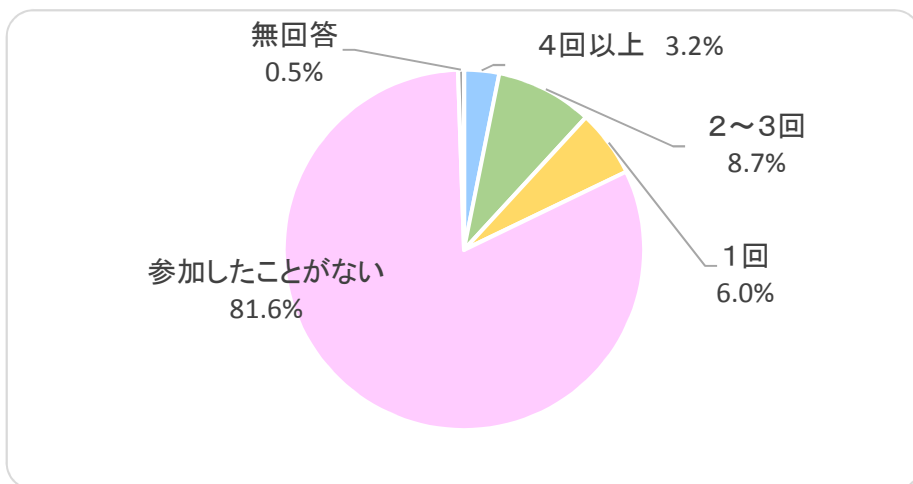


(1) 「必要だと思う」のうち、その他のご意見【8件】

- ・半年に1回
- ・数年に1回
- ・今のやり方では必要ないと思う

○約半数の方が議会報告会・意見交換会が必要と感じており、そのほとんどが年1回の開催を望むものでした。その反面、わからないという回答も4割ありました。

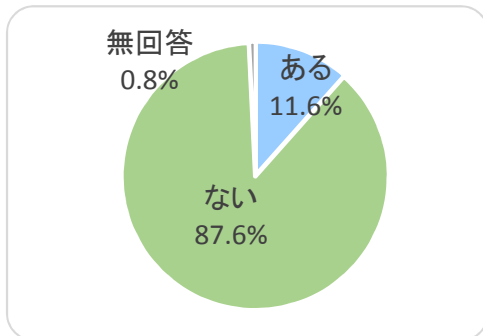
問10 今まで議会報告会・意見交換会に何回くらい参加したことがありますか。



○議会報告会・意見交換会に参加したことがない方が8割超えるという回答でした。

Ⅲ さつま町議会議員について

問11 あなたはさつま町議会議員に自分の意見や要望を伝えたことがありますか。



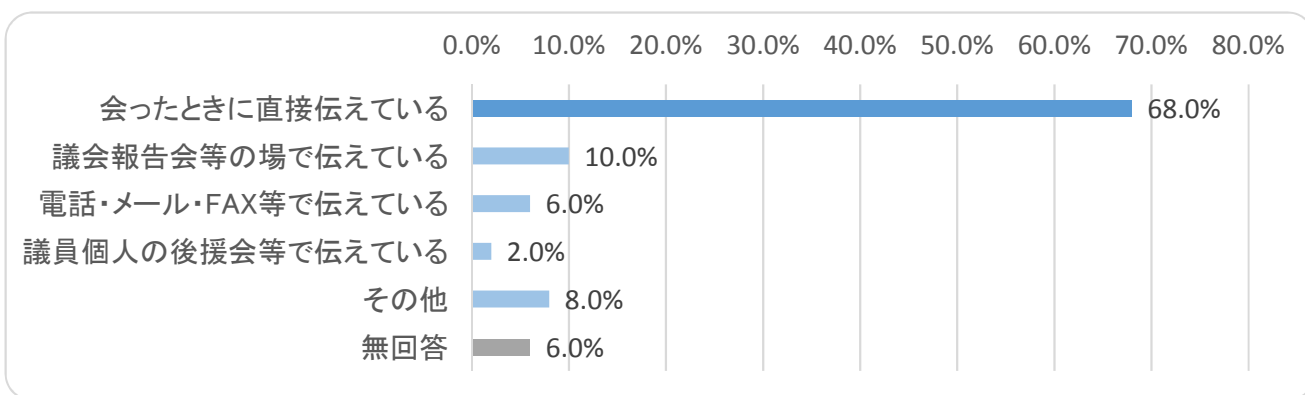
ある方は
↓
問12へ

ない方は
↓
問13へ

○ほとんどの方が議員へ意見や要望等を伝えたことがないようでした。

(意見・要望等を伝えたことがある方へ)

問12 あなたはさつま町議会議員へどのように自分の意見や要望等を伝えていきますか。(複数回答可)



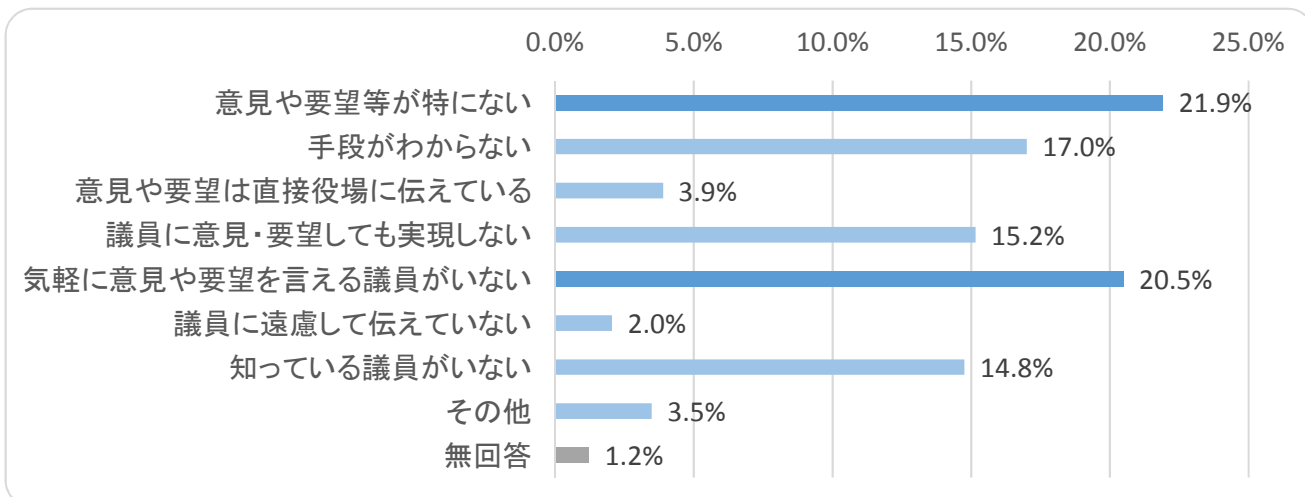
(1) 其他のご意見【4件】

- ・伝えたことはあるが言いづらい
- ・最近はないが以前は議員の方が訪問してくださった。
- ・最近は何も言っていない。意見を言うすべなし。
- ・議員さんとの交流の場で少し

○伝える手段としては、会ったときに直接伝えている方が最も多いようですが、議員と会う機会があまりないという意見もありました。

(意見・要望等を伝えたことがない方へ)

問13 伝えたことがない理由を教えてください。(複数回答可)

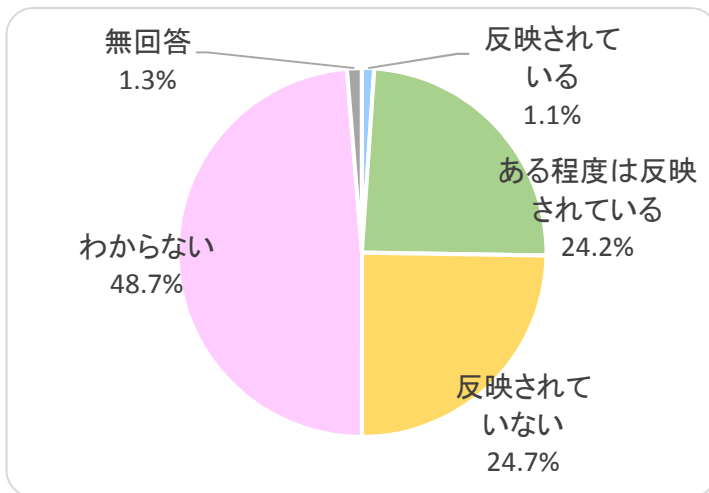


(1) 其他のご意見【16件】

- ・議員さんの顔も知らない
- ・伝えるチャンスが無い
- ・少数意見はきいてもらえない
- ・議員がえらそうにしていると言えない
- ・最近転入してきたため
- ・以前要望をしたが過疎化の地区なので何をしても意味がないと言われた。地元で議員が在籍していないと意見・要望しても実現しない。
- ・議員に内容を理解してもらえず、面倒臭そうで、印象が悪かった。上から目線に少しがっかりした。
- ・議員の方が良い顔をするのは選挙前だけなので全く意味ないと思う
- ・意見は言っているが、議会で話がでているかわからない。議員より返答なし。
- ・そのようなことを考えたことが無かった為
- ・会うことがない
- ・言える雰囲気がない
- ・議員からやる気を感じられない
- ・意見を言える立場じゃないのかなと思って
- ・興味がない

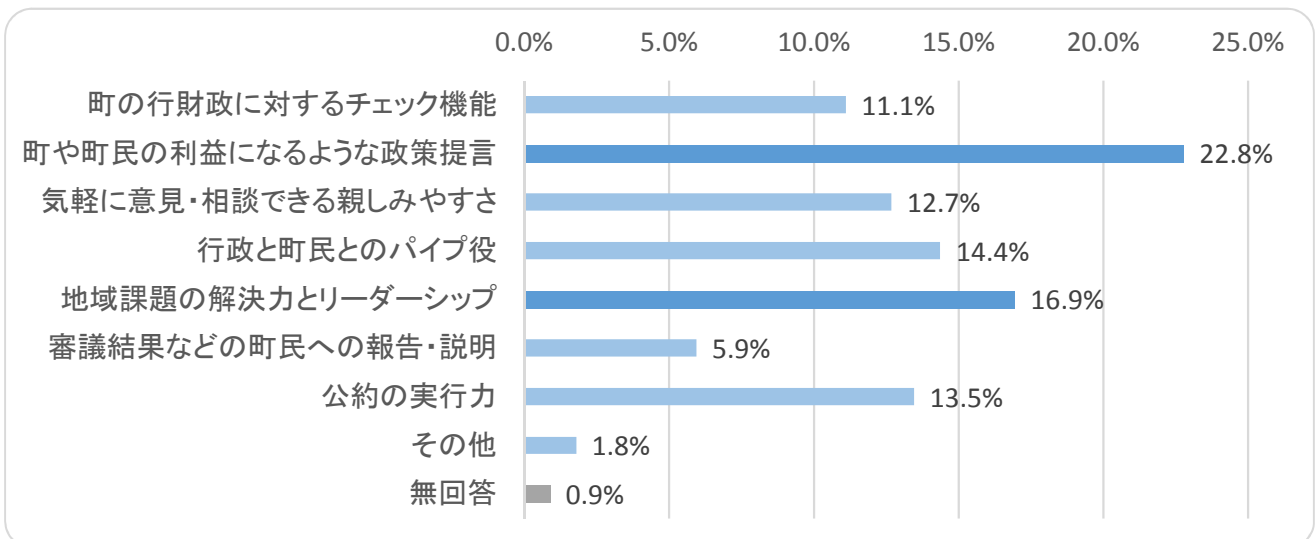
○伝えたことがない理由としては、意見や要望が特になく、気軽に言える議員がいないという意見が多いようでした。

問14 あなたの意見や町民の声がさつま町議会に反映されていると思いますか。



○わからないという回答が約半数で、ある程度は反映されているが約4分の1、反映されていないが約4分の1という結果となりました。

問15 あなたは議員に対して特に何を期待しますか。(3つまで回答可)

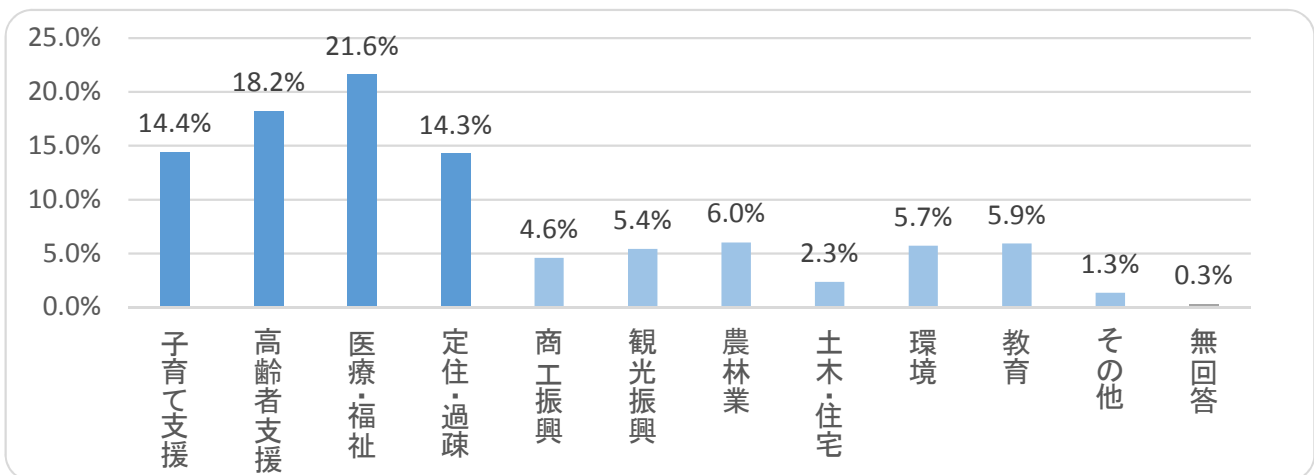


(1) 其他のご意見【15件】

- ・町の若者目線になること
- ・介護、高齢者の生き方
- ・議員なんて必要ない
- ・議員選挙がない、公約とはなんか
- ・選挙の為の頭さげのみ。後はどこの人？知らんふり。
- ・過疎化地区の町民の意見をよく聞き、安心安全な町づくりをしてくれるリーダーシップ
- ・何か一つで良い。議員同士の連携による町活性施策の実現
- ・議員として、特に新議員は研鑽を積んでほしい。一人の議員の印象で議員全員の評価に影響している。
- ・町おこしの仕方が中途半端だし、予算の使い方が下手だと思ってしまう。すみません
- ・教養・常識・人格
- ・企業誘致
- ・何も期待しません

○町や町民の利益になるような政策提言が最も多く、次いで地域課題の解決力とリーダーシップなどに期待を寄せている意見が多いようでした。その反面、何も期待しないという意見もありました。

問16 あなたは議員に対してどのような政策課題に取り組んでほしいと思いますか。(3つまで回答可)

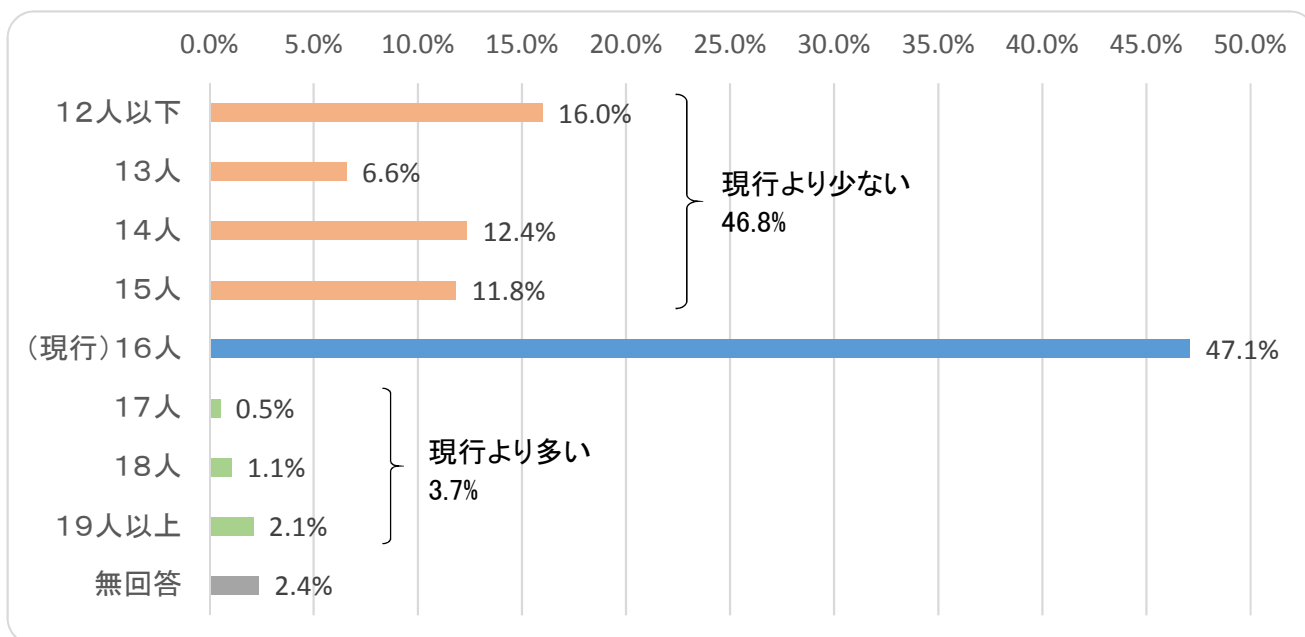


(1) 其他のご意見【11件】

- ・町内での仕事に対する支援
- ・障がい者の就職支援対策
- ・議員さん自身がやりたい政策をするべきです
- ・雇用対策(子育て世代の)
- ・地域の活性化の支援
- ・空家の活用、生活困きゆう者対策、ひきこもり不登校対策
- ・企業誘致(土地活用による商業施設、テーマパーク等) 県にない大胆な誘致施設等
- ・各企業による収入格差の調査・賃金向上(資産運営の勉強会など)

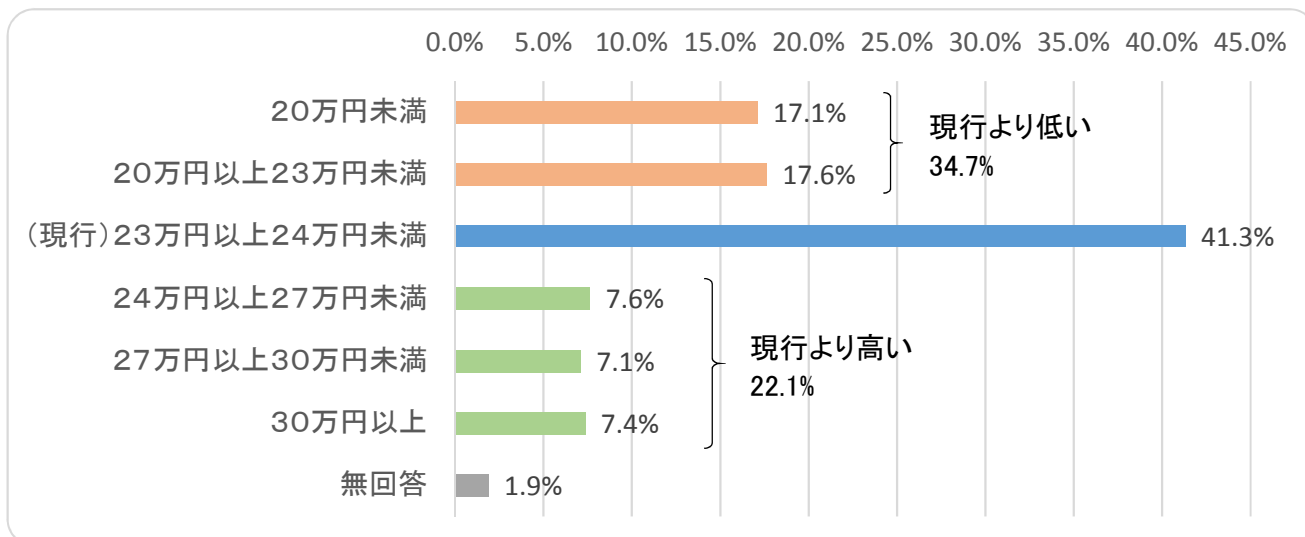
○医療・福祉、高齢者支援、子育て支援、定住・過疎といった政策課題に取り組んでほしいという意見が多いようでした。

問17 平成17年市町村合併時のさつま町議会の議員定数は28人、平成21年4月から20人、平成25年4月から現在まで定数16人となっています。議会による健全な審議や町政のチェック機能を今後も継続していくため、あなたは議員定数は何人がよいと思いますか。



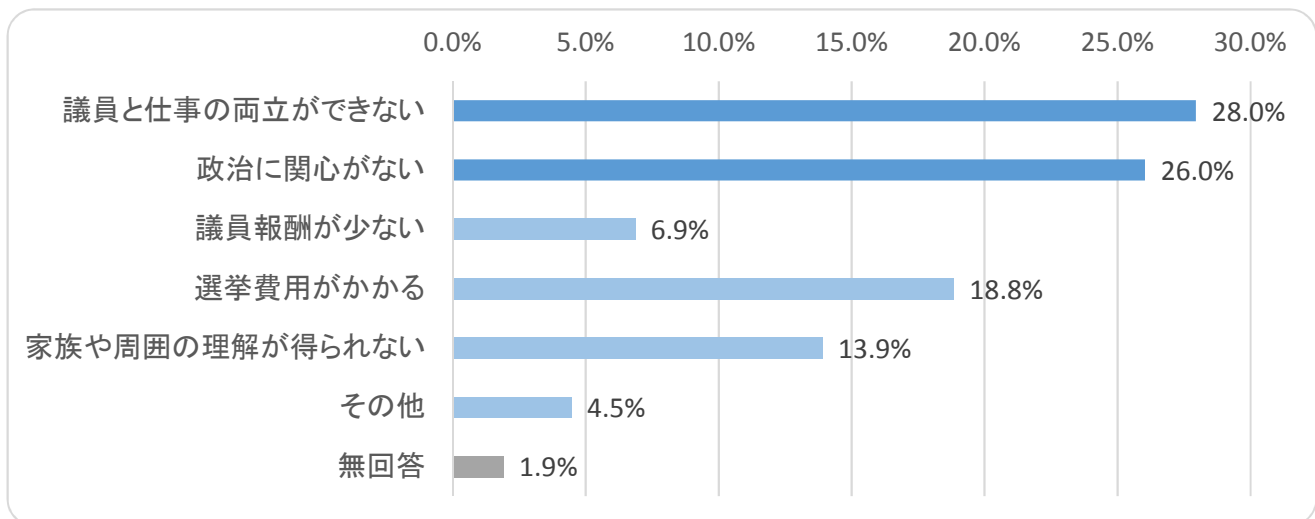
○現行どおりでよいという意見が最も多い結果となりましたが、現行より少ない定数でよいという意見も約47%ありほぼ同数となりました。

問18 さつま町議会議員の報酬は月額236,400円ですが、あなたがもし議員になるとしたら、議員報酬は月額どれくらいが適当だと思いますか。



○現行どおりでよいという意見が最も多い結果となりましたが、現行より低くてよいという意見や逆に高くてもよいという意見も一定数ありました。

問19 平成29年4月のさつま町議会議員選挙では、立候補者数が議員定数を超えずに無投票当選となり、議員のなり手不足が課題となっています。何が原因だと思いますか。(2つまで回答可)

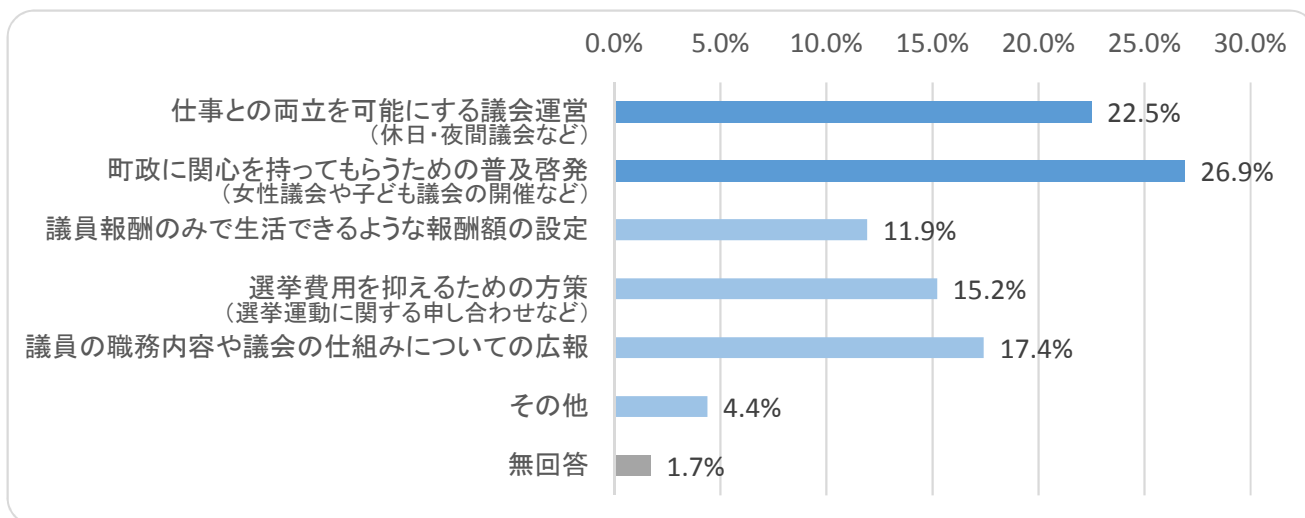


(1) その他のご意見【24件】

- ・さつま町を良くして行く思いの人がいない
- ・新しく参加しても何も変えられないから
- ・若い人材を地元に残せない
- ・議員をやるほど暇じゃない
- ・議会に期待感、存在感がない
- ・議員間の風通しが悪い様に見受ける
- ・議員に関心が全くなし
- ・能力のない人が多い
- ・高齢議員が多いから若い人が出てほしい
- ・自分をなげうってでも町をよくしようという熱意
- ・議員に魅力を感じられない。やる気を感じられない
- ・この町に魅力を感じない為政策が打ちにくく実現に出来ない為
- ・議員、議会活動に魅力を感じられないため。私もなりたいと思わせる議員がいない
- ・議員になっても将来への見通しがつかず難しいと思う
- ・議員になれば周りからの重圧で自分がつぶれてしまうから
- ・議員として何をやっていいのかわからない
- ・一挙一動をいつも見られ、何をやっても批判される。議員は偏見が根強い地域である。
- ・選挙で落選した場合無職になる可能性がある
- ・議員としての活動状況に応じて議員報酬を加減するなど。誠実に町民のために活動するやりがいを感じられないから。
- ・魅力を感じない。選挙に対する抵抗がある。議員は素人には難しい(行政に詳しい知識が必要)と思われる。

○なり手不足の問題としては、仕事との両立が困難という意見が最も多く、政治に関心がないという意見も多い結果となりました。また、議員に魅力を感じられないという意見や議員になっても何も変えられないという意見もありました。

問20 さつま町議会議員の平均年齢は67.8歳で女性議員はいません。広く町民の声を届けるため、女性や若手に立候補してもらうようにするには、どのような対策が必要だと思いますか。(2つまで回答可)



(1) 其他のご意見【24件】

- ・議員の大変さと、魅力、必要性を町民に伝える
- ・各団体の推薦枠議員の設立
- ・組織票による事前の調整を不可とする
- ・女性が立候補してよい雰囲気作り
- ・新しい考えを周りからつぶそうとしない姿勢
- ・現行の議員定数を減らして、1人当りの報酬を増額すれば立候補する人も増えるのでは。
- ・妊娠、子育てをしながら議員の仕事が出来るようにサポートを行う。(たとえば子どもの一時預かり等のサービス提供を行う。産休・育休の導入。)
- ・無理に女性議員に立候補してもらう必要はあるか？
- ・町内に若者や女性を受け入れるムードがあるだろうか？
- ・女性や若手がやっても、いまのさつま町の体質は変わらない。
- ・議員という敷居の高さを感じる。もっと身近に感じさせる事
- ・議員になりたいと思う人は自然と出てくると思います
- ・町の代表として選ばれるが選んだ人からのバッシングも酷いため
- ・議員の仕事、どんな事をしたのか？などを小・中学校での課外授業を行う
- ・まずは公民会活動や、PTAなどで女性・若手が多く活躍し町の為に働きたい人を後押しする雰囲気づくりが必要
- ・現職議員による後継者育成。当選後の学習機会・支援体制の充実を図る。行政経験議員の存在は議員全体のレベルUPにつながる。指導者として「予算のしくみ、見方、チェックポイントなど」経験を生かし議員間で気軽に学べる機会があると立候補への不安も軽減される。
- ・若手の政治塾のような講習会をさつま町主催で定期的で開催していく取り組み。さつま町や町議会として若手を育てていく取り組みの必要性。若手でも政治に興味のある人材はさつま町内にもいると思うがチャレンジしていく門戸が開いていないように感じている。

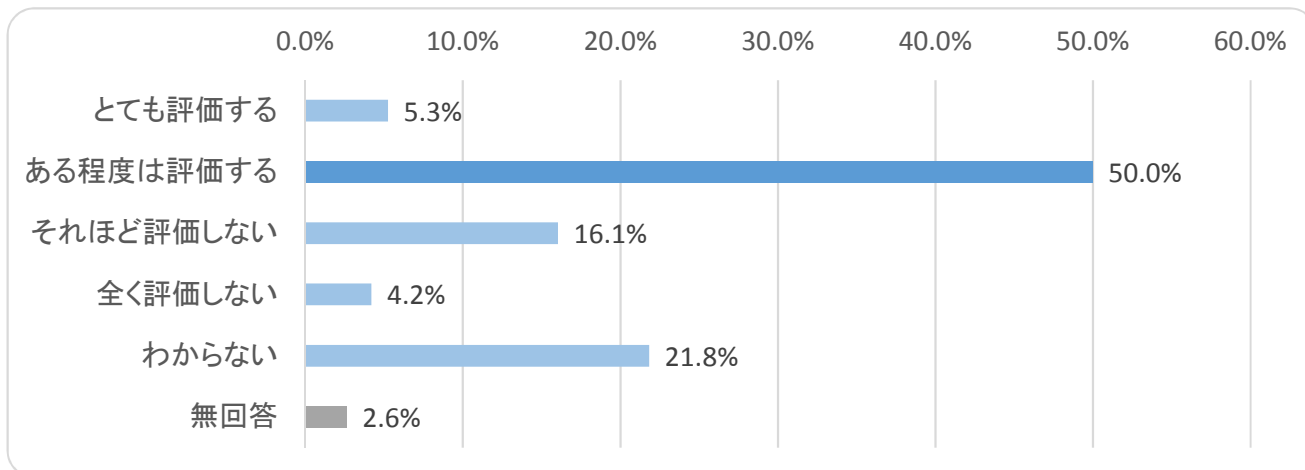
○関心を持ってもらうための普及啓発や仕事との両立を可能にする議会運営が必要という意見が多いようでした。また、定数を減らし、報酬を上げれば立候補も増えるという意見もありました。

IV 議会改革について

問21 これまでさつま町議会では、議会運営の活性化のため次のような取り組みを進めてきましたが、あなたはさつま町議会をどのように評価しますか。

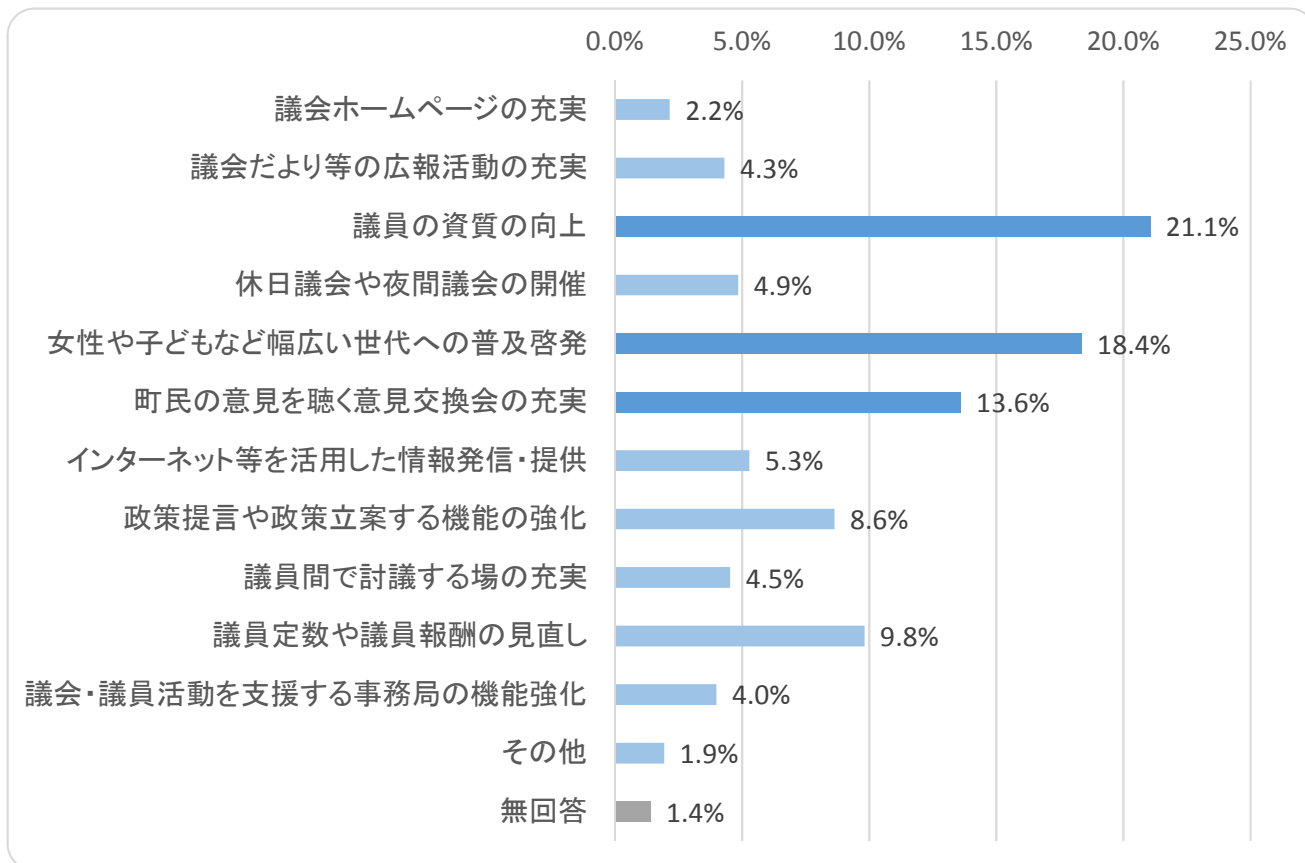
《議会運営活性化の取り組み》

- ・議員定数の削減
- ・本会議のインターネット中継
- ・議会だよりのカラー化などによるわかりやすい広報活動
- ・議員報告会を意見交換会へと変更することによる町民との活発な意見交換の場の充実



○半数の方は、ある程度評価するという回答でしたが、わからないという回答も多いようでした。

問22 あなたは今後のさつま町議会の改革について、取り組むべき課題は何だと思えますか。
(複数回答可)



(1) その他のご意見【16件】

- ・議会に対して興味をもってもらうこと
- ・議会の見える化
- ・ネットで相談や意見を書き込む場が欲しい
- ・小さな声をだいに!!
- ・幅広い年代・性別の町民からの意見収集ができるような場、手段を設ける。
- ・町民の「代表」としての活動、町民の声を聞く活動を徹底すべき。
- ・議員という敷居の高さを取り除くこと。もっと町民に寄り添うこと。
- ・そもそも知名度が低いので、もっと何かしらの方法で存在感を出す。
- ・政治に興味がなくても話が聞こえてくるようなしくみをつくる。
- ・インターネットで改善して欲しい点の意見を募る。
- ・意見交換会にでる町民はごくわずかだと思うのでもっと身近で幅広い意見をひろいあげるくふう。
- ・過疎化地区への安全面(国道沿いに街灯設置、504号線等防犯対策)→交通量UPの為にも必要。

○最も多い意見は議員の資質の向上で、次いで幅広い世代への普及啓発という回答でした。また、インターネットで相談や意見等の書き込みができるようにという意見もありました。

問23 さつま町議会に対する意見や要望等がありましたら、何でもご自由にお書きください。

(自由記載)【89件】

<議員関係>

- ・議員の方々も町民のために頑張っておられますので感謝いたします。
- ・私たちが住むさつま町の為に色々と努力されています。議会の皆さんお疲れ様です。
- ・地域の議員の方は定期的に活動内容を広報誌で報告して下さりありがたく思います。
- ・年齢の若い議員が増えてほしい。
- ・町民の意見に耳をかしてほしい。高齢な議員ばかりで、ほぼ興味がない。
- ・選挙の時だけのあいさつ等だけです。興味もない。活動している所みた事ない。
- ・議会の質問が少ないと報道されて町民は恥かしい。議会の存在価値を見せてください。
- ・接点がないため関心がうすい。もっと身近な存在となりえるようなあり方はないのだろうか。
- ・当選したらあいさつもしない方が多い。常に町民と接していることを自覚してほしい。
- ・議員の活動が見えない。もっと地域に入り込んだ活動が求められているのでは。
- ・もっと幅広く多くの町民と接し意見を聞いてほしい。イベントにも議員の姿を見ることがない。
- ・議員の態度を改めてほしい。何様のつもりでいるのかわからない。
- ・議員というだけで町民の事は何も考えておらず、ただ議会をこなして給料のみを得ている。
- ・無投票当選が議員の資質低下にもつながり、緊張感のない活動に繋がってしまうと感じる。
- ・地域のため隅々まで手当しない。するのは選挙の時だけ。
- ・議員さんそれぞれ何かしら政策等を考えておられるのでしょうか。それが見えない。
- ・選挙の時しか見ない。台風後の地域見回りとかしていますか。災害時以外にも地域対応を。
- ・議員は大事なポジションです。本音で意見交換しなければ、なにも見えてこないと思います。
- ・議員の資質の向上。私は皆様に選ばれた議員ですとしっかりした気質、態度が欠けている。
- ・若い世代はあまり町議会や政治に対する関心はあまり高くないと思います。若い世代から

手を伸ばし情報を収集する必要性を強く感じております。

- ・町民の意見を聞くこと。
- ・幅広く政策課題を提言するためには広い分野の知識を身につけてほしい。
- ・町議の活動状況が見えず評価ができない。町の活性化を図るために商業や空き家対策、閉校の活用方法など検討してほしい。町民から参加できる町の活性化案の検討。
- ・公平さに徹した議員であり議会であってほしい。
- ・無投票はいけません。当選してからの活動が見えません。サラリーマン化しているようです。
- ・政策提言、立案内容に若者世代の案件を多く取り入れることで、女性又は若い方が自分も行政に携わりたいと思い、立候補していくのでは？と思います。
- ・どんな活動をされているのかが良くわからない。一部の方々だけに理解されるのではなく、もっと多くの方に伝える努力をしてもらいたい。
- ・議会報告会の際に全ての質問が持ち帰りとなっている。議員の方々も町民の前で報告するのであれば、もう少し勉強すべきではないか。
- ・町政が動く前に阻止するのが町議員の仕事ではないでしょうか。
- ・町民とのふれ合い、町民の為の議員になってほしい様な気がします。
- ・ボランティアの心で町民とふれあってもらいたい。口だけではなく、体を使ってもらいたい。

<議会改革関係>

- ・定数を減らし報酬を増加させて少数精鋭で町発展のためにご尽力頂きたい。真に町発展を志す人が立候補するよう魅力ある議会となるべき。
- ・町民の意見が採用される、されないは別として議会に反映されていかないと議会の意味をなさないのでないか。
- ・任期の制限、年金の制限、選挙区制度。
- ・「自分たちの声成形になった」と実感できれば興味・関心につながっていくと思う。
- ・議員報酬は仕事内容で決めてほしい。議員は20代から各世代の人がいいと思います。
- ・取り組み自体は悪くないが、身内での盛り上がり終始している。思い切った改革が必要。
- ・人口減少、高齢化率の増加を見越しての定数を考えるべきだと思います。
- ・議会と仕事の両立が難しいのが現状なのですが、そのあたりの対策をしてみてもどうか。
- ・誠が感じられる運営を一人々がもってもらいたいと思います。
- ・議員を少なくし、区長を利用すればよい。区長の手当を上げればよい。
- ・若い人たちや女性が議員に立候補できるようなことをもっとしていく必要があると思った。
- ・議員数による地域格差の是正。女性議員の復活と女性の声を町活性化の原動力にする。
- ・議員が高齢な為、子育て世代の意見が無視される。偏った世代で会議をしても意味はない。
- ・議員が何の活動、仕事をしているかあまりわからない。数は少なくとも質の向上が一番大事ではないかと思います。
- ・議員・議会と聞くと堅苦しいというか身近に感じられません。もう少し身近に感じられる議員さん、議会になったら良いのになと思います。
- ・若手議員の立候補者がいないのであれば現議員さんから推薦者の候補を出す方法は。
- ・40歳代の議員を育成するために仕事と議員の両立できるように対策が必要だと思います。
- ・町政を一番に考えられる方が選挙に当選する様な仕組みがあれば良いと思うのですが。
- ・条例で家賃の中にごみの収集費用まで入れている所があるそうなので、さつま町議会でも成

立させて下さい。

- ・町民全体でさつま町の未来を想像して課題や目標に向かって一人一人が役割を持って生活できると良いなと思います。今回のアンケートが有効に使われることを期待しています。
- ・出前講座に登録してください。議会の仕組みなどを学ぶことで理解も深まり身近に感じられる。議員も参加すれば、町民の意見を直接聞き、町政に反映させる為の情報収集にもなる。
- ・ボランティア活動とか活発にしている女性や若者も参加できるようにしてほしい。

<町施策関係>

- ・以前過疎化地区等での街灯の設置をする必要ないと即答された経緯がある。
- ・本町にアーケードが無いのが困ります。夏祭りの踊りを見る気がしません。
- ・町営住宅の家賃が高くて住みにくい。生ゴミ分別も年寄りにはきびしい。定住したくない町。
- ・さつま町の全ての町道清掃作業を実現してほしい。緊急の時必ずそれが役に立つから。
- ・若い働き手が少なく、高齢者は増える一方なのに介護士や施設の数が足りていません。
- ・企業誘致に全力をあげて、若者や女性が安定して働くことができるように。
- ・町営住宅の入室状況を教えてほしい。入居率が悪ければ運営方法を考えたらどうか。
- ・さつま町が魅力あるところになるよう、ほかの場所等を参考にして議論してほしいです。
- ・インターネット中継など行っているが、光が通っておらずADSLのみで遅い。
- ・病院のあり方。時間、対応あまりにもひどい。お年寄りも多いこの町で何か改善してほしい。
- ・お年寄りの為に無料のタクシーをつくってください。
- ・子育て支援を充実させてほしい。産婦人科医の出張訪問等も検討していただきたいです。
- ・高齢化社会になっている現状に対して、町内の公共交通の充実等を早急にしてほしい。高齢者の方々が元気でいきいき生活できるまちにしてほしい。
- ・さつま町唯一の中学校名が宮之城中学校であることがおかしい。観音滝公園の再偏をお願いします。この意見に対する回答が議会だよりに掲載されることを楽しみにしております。
- ・弾薬庫の建設は大反対である。弾薬庫のある町に住みたいとは到底思えない。
- ・さつま町の良いところをもっともっと広めてください。(文化面・温泉活用・環境整備面)
- ・住みよい町にして下さい。福祉・医療に力を入れてほしい。
- ・人口増加の方法を考えて見てほしい。他町村の勉強などして考えてください。
- ・町内の道路整備(除草など)にもっと力を入れてほしい。大型ショッピングセンターなど人が集まるところの誘致等人が集まる街づくりをしてほしい。
- ・クリーンセンターに貸借の軽トラックがあればよいと思うが、1~2台では足りない気がする。
- ・最近10年間のさつま町の財政状況をグラフでわかる様に。議員は町民の代表、住民の安心安全を真剣に考えてみる事。
- ・地域の課題を直接伝えても執行できる予算等がなく、なかなか行政が動かない事案もある。削減するばかりがベストと考えるので前向きな視点も必要ではないか。
- ・団塊の世代が後期高齢者となる2025年をめどに、“未病”対策として、健康フェアの開催などを運営してほしい。
- ・町を主体としたスポーツチームを作れば、町民も盛り上がると思います。町民交流もふまえて、町コンが年に1~2回あるとおもしろいと思います。
- ・高齢者支援にもっと力を入れてほしいと思います。今後の活動に期待しております。
- ・今と違い旧薩摩町の時道路の除草やゴミ問題はしっかりしていました。

・高齢者が多くメインになるのは仕方ないが、もっと未来がある若い世代に目を向けてほしい。

<その他>

- ・知らないことも多くて、もう少し自分の町に興味を持ちたいと思いました。
- ・ダンスが踊れるキレの良いさつまちゃんを用意する。話題性作りで。
- ・さつま町がしていることが若い世代から見ても見当はずれなことが多い。宣伝の仕方が下手だなと。若い人を取り込みたいならSNSを活用すべきだと思います。

○自由記載では多くの意見等があり、議会改革について改めて考えさせられる良い機会を得ることができました。

このアンケート結果や参考人からの意見聴取等を踏まえ、議会の活性化に向けて取り組んでいきたいと思えます。多くのご意見、本当にありがとうございました。

今後とも、さつま町議会を見守っていただき、ご意見等をくださいますようお願いいたします。